

目標 5 観光を楽しむ環境を整える

2025 年の姿

区民の暮らしの場としての安全性や快適性が確保され、観光滞在を可能とする宿泊環境や、快適な時間を過ごすことができる滞在環境、多言語対応が整った環境が整備されています。

また、区内をスムーズに周遊できる案内や交通基盤、「もてなしの心」による受入環境など、板橋を訪れるだれもが楽しむことのできるまちとなっています。

取組の方向性

ユニバーサルデザインを踏まえた案内や交通基盤の整備、インバウンドの増加を契機として多言語対応を進めるとともに、周辺の住環境とも調和した民泊サービスの提供などによる宿泊環境の整備を図ります。

また、訪れる方々が快適に滞在時間を過ごすことのできる「もてなしの心」の醸成や施設整備、にぎわいの場の創出に取り組み、多くの観光客が板橋を満喫できる環境の充実を図ります。



磨く × もてなしの環境

観光滞在基盤の整備



インバウンドの増加を見据え、観光滞在が可能な環境を確保するため、民泊などの宿泊・滞在環境や多言語対応の充実に取り組みます。

また、様々な観光資源を周遊できる環境を整えるため、シェアサイクルの活用などを視野に入れた交通基盤の整備に取り組むとともに、区民・観光客の交流の場として、区の玄関口である板橋地域へ観光案内拠点を整備します。

磨く × 食とにぎわい

食・商店街を通じた観光促進



多数の魅力ある飲食店を有する強みをいかした事業展開によるにぎわいの創出や歴史を背景とした食の再現による新たな魅力の創造に取り組みます。

また、商店街をより楽しんでもらえるよう、板橋四大祭りなどのイベントやオープンカフェなどによる新たなにぎわい・交流の場の創出、快適な滞在時間を提供する休憩スペース・トイレなどの確保・整備に取り組みます。

創る × 快適な移動

屋外案内標識デザインガイドラインの策定及び観光案内板などの整備



わかりやすい案内誘導を実現するため、表示内容やデザイン、設置方法などに関する統一的なルールとして、屋外案内標識デザインガイドラインを策定します。

その後、ガイドラインに基づいた観光案内標識を計画的に整備し、区民や観光客が観光資源などをスムーズに周遊できるよう取り組んでいきます。

伝える × もてなしの心

MOTENASHIプロジェクトの推進



東京 2020 大会に向け、交流人口の増加を図る諸施策を効果的に推進するとともに、訪日外国人を区に迎える体制を整備するため、施策を支える区職員の意識・能力の向上を図ります。

また、「もてなしの心」を広く区内に波及させるため、区民との協働や大学連携を進めていくほか、関連する諸施策とも連携を図り、より一層の効果を生み出します。